

村本かつのり 翔新会 通信

vol.1 村本一則事務所 〒920-2144 石川県白山市大竹町34-1 TEL 076(273)3319 FAX 076(273)0649
<http://muramoto katsunori.com/news/1912.html> E-mail issoku@muramoto katsunori.com

あたたかい市づくりに 住民の声や心を生かします

議員任期の残された期間、一生懸命に議員活動を行ないたいと考えております。

さて、去年は3月25日能登地震が発生し防災に対して考えさせられる一年ではなかったでしょうか、また食品製造など偽造が多く発覚した年でもありました、生きるための食料です安全で安心して食することが大切なことではないのでしょうか。昨今の食料問題から自給率約39%の日本これで良いわけではないでしょう、田園都市白山市が食糧生産の面で脚光を浴びるのもそう遠くないような感じがしています。白山市の将来のまちづくりの基本となる白山市マスタープランの策定が行われ、今後はこのマスタープランに沿って市づくりが進められます。

自然、ひと、まち、を基本理念として「豊かな自然とひとが共生する自立と循環のまち」づくりを目指して市づくりが着々と進められていくこととなります。

今後の私の取り組む課題としては、職員の効率的な配置、経費の節減の観点から支所の統廃合の問題があります、鶴来地区の公民館に併設の小体育館建設の件も課題です。

スキー場整備の問題は方向性が決まり、今年新しい方



県内でも人口増加や観光資源、工業の立地条件の良さなど白山市は希望のある市であると思います。

希望ある白山市が安全で安心して住めるまち、住んでよかった、住みたいまちづくりに、そして今後も、将来の子供たちに負担を担がせないような白山市であることを基本として、執行部に対して提言を行い監視も行い、発言する議員として今後も議会活動に頑張っていきます。

提言がカタチになりました

発作による心臓病・救命のために

AED資格取得講習会開催

防災対策委員長として提言

生きるために絶対に必要な食料

食育導入によるまちづくりの推進

一般質問

老朽化した消防庁舎、安心安全のために

広域消防庁舎移転新築を提言

防災対策委員長として提言

農産物の安定供給に向けて

農業関連3法の実施

一般質問

財政の健全化に向けて

スキー場統廃合、民間委託への推進

スキー場特別委員会副委員長として

世界の課題、CO₂削減に向けて

地球温暖化防止に風力発電の支援

一般質問

あ 安心できる市

■ 洪水によるバイパス機能として
質問●高橋川改修計画で、月橋大谷川の水量を放水路に流下することにより初めて全体計画が効果を発揮する。金沢市、野々市町と共に県に強く要望すべき。



市長●県に対し、放水路へのバイパス工事を金沢市、野々市町と共に強く要望していく。

防災対策特別委員会活動報告 村本一則 委員長として

これまでの活動として、降雨による災害発生危険箇所の松任地区倉部川下流域の未整備箇所と、慢性的に冠水災害の発生している美川地区手取川左岸の西川を視察、今後の豪雨災害に対する対策等検討を行いました。

また、梅雨後半の豪雨による白峰地区蛇谷の土石流災害、国道157号の土砂崩れ箇所、鳥越高原大日、中宮温泉両スキー場の土砂崩れの現地災害状況を視察。さらに、松任地域の七ヶ用水下流域での洪水を未然に防ぐための、電話回線利用による用水の水門の自動開閉の仕組みについても視察しました。

特別委員会発足当初より、検討課題である防災本部の重要な拠点となる消防本部庁舎建設に対し、当委員会としての提言を取りまとめた事項について、広域事務組合で、検討され反映されたのかどうか確認また、心臓発作に救急対応するための自動体外式除細動器(AED)の使用方法について講習を受けて資格取得をしました。

市域が広大になったことにより想定外の災害発生が予想されることから当委員会の課題も多岐にわたり、市民が安全に安心し



た たくましい市

中宮温泉スキー場の
利活用策、ドックランとして
整備しては



質問●中宮温泉スキー場の利活用策として、温泉もありなだらかな斜面のスキー場においてスキー用ネット等を利用して、大型犬・中型犬・小型犬の仕切りを行えば大規模なドックランとして計画できないのか検討することを提案する、ドックランの後は犬も人も温泉施設にてリラックスする施設を設け、他にはない特徴のある施設として、全国に発信ができる施設となる、加えて警察犬などの訓練や競技会も開催ができるよう整備することも併せて検討
観光推進部長●温泉付きドックランとして全国への発信や温泉付き犬連れ道の駅の整備は地域振興策の一つとして考えられます、今後中宮地区振興計画策定委員会にて振興策の一つとして協議

た ただしい市

自治基本条例、時間をかけ
市民に周知し意見を求めた
上で、制定すべき



質問●「白山市の憲法」といえる自治基本条例、多くの市民の意見を聞き、白山市らしい条例にするために、急がず、策定には時間をかけ職員の研修も充実した上で、議会と互いに知恵を出し合った中で条例制定を検討してはどうか。

市長●これまでも町会長連合会や地域審議会等において説明を行っている、今後も多くの市民から意見を聴取し、行政経験豊かな有識者で組織する市民会議を設置し、深い議論を経る中議会と協議のする中から、目標としては条例を12月定例会に上程したい。

か 活力のある市

地球温暖化対策として
風力発電は有効ではないか



質問●地球温暖化対策に風力発電は世界的に普及している、バイオマスにて発電を行うための穀物を利用する件は穀物の価格の高騰や生きるための食料であって飢餓にあえいでいる地域もあることを考えれば限界がある、ごみによる発電も一定量は良いとしてそれ以上となるとごみの排出を助長することとなるので限界がある、しかし自然エネルギーの利用には限界がないように考える、白山市でもこの自然エネルギー利用の風力発電を行えばCO2削減に対して地球的な貢献につながり観光面の効果も期待できると考える中、白山市として第三セクター方式も含めて検討しても良い案件であると思うが市長の考えを問う。

市長●地球温暖化対策に有効な風力発電については賛成である、しかし市としてはこれまで第三セクターは成功例がないためにもうこりごりである、第三セクター方式の風力発電は行わない。しかし、今後民間事業者が計画する場合には市としてできるだけ

い 生きがいのある市

食育導入による白山市の
まちづくりの検討について



質問●食育は明治時代に石塚左玄という人物の著書「食育養生法」の中で初めて使われた「学童を養育する人々はその家訓を厳しくして、体育、知育、才育、徳育は即ち食育なるとべけんや」と西洋文化が急速に入り込んだ我国の食生活に警笛を鳴らし、食育が大切であると訴えていた。現代の日本の西洋化の食事とも重なるところがあり、食育が今日叫ばれる所も明治時代と似たところがある。

食育の先進地、子供の料理教室に重点を置いて活動している。小浜市の担当者を講師として招き食育の講演、キッズキッチン
健康福祉部長●食育は大切である、「身土不二」の考え方に基ずく「地産地消」の推進や食文化の継承、発展など参考にすることが多い。キッズキッチンを進めるために、まず小浜市の担当者を招いて、講演会を開催し浸透を図っていく。食による地域興しや水を生かした街づくりも進めていき、「早寝、早起き朝ごはん」の関連事業も積極的に推進して行く考えである。